

<問い合わせ状況 2022年8月>



● 院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に5~10件程度の問い合わせに対応しています。8月の疑義照会は8件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認
- 剤型変更（3件）
- 日数変更（3件）
- その他： エンシュア・リキッドの味について

● 薬に関する問い合わせ（患者・家族・施設より）

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。

8月はお問い合わせが3件ありました。

- 白内障の術後の点眼3種類の使用順は？
- アジョビ®施行4日後に腹部に湿疹が出たが、良い市販薬などあるか？
- 他院で新型コロナ用としてロキソプロフェンを屯用で出してもらった。

同時に咳止めのアスピリンを6錠分3でもらっており、間違えてロキソプロフェンを6錠分3で服用した。どうすれば良いか？



● 薬に関する問い合わせ（院内より）

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。記録してあるDI室への問い合わせは、8月は8件でした（病棟で直接質問されたことは未記載の可能性が有ります）。

◎が ついたものについては回答をDI ニュース No. 449 に記載しています。

- 40%セレニカ®R 顆粒は溶けるか？→不可。バルプロ酸シロップへ変更を。
- ◎カルベジロール 5mg からピソノテープに変更する際の対応量は？
- ◎スタレボ®錠を半分にして良いか？
- ◎小児（14歳）の片頭痛治療について
- ◎炭酸リチウムとNSAIDsの併用でリチウム中毒はどの程度発現するか？
- ダーブロック®は簡易懸濁可能か？→可
- ◎アスパラ®K散は簡易懸濁可能か？→不可。凝集性がある。どうしても使う場合は攪拌してフラッシュをすれば通ると思われるが、懸濁後に時間が経つほど固まりやすくなるので、投与直前に懸濁すること。
- ベクルリー®で使う輸液は生食のみ？→5%ブドウ糖液も使用可能。

